

各位

2020年8月5日

会社名：川崎汽船株式会社

代表者名：代表取締役社長 社長執行役員 明珍 幸一

(コード番号 9107 東証・名証各第一部、福証)

問合せ先：経営企画グループ長 北村 午郎

(TEL 03-3595-5594)

### 2021年3月期通期の業績予想について

2020年5月11日に公表いたしました「2020年3月期決算短信」において未定としておりました2021年3月期の業績予想を以下のとおりお知らせいたします。

#### 1. 業績予想

##### (1) 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	通期				
	連結売上高	連結営業損益	連結経常損益	親会社株主に 帰属する 当期純損益	1株あたり 当期純損益
前回発表予想 (A)	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -	円 銭 -
今回発表予想 (B)	600,000	△ 27,000	△ 28,000	0	0.00
増減額 (B - A)	-	-	-	-	
増減率 (%)	-	-	-	-	
(ご参考) 前期連結実績 (2020年3月期)	735,284	6,840	7,407	5,269	56.50

##### (2) 公表の理由

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) (以下、「新型コロナウイルス感染症」という。)の影響を受け、各国、各産業において海上輸送需要が大幅に減少し、当社グループの事業全般に大きな影響を及ぼすことが想定され、2021年3月期の連結業績予想の合理的な算定が困難な状況が続きました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として予断を許さないものの、各国、各産業における見通しが徐々にたってきたことを踏まえ、現時点において入手可能な情報及び合理的と判断される前提条件に基づき通期業績予想を公表することといたしました。なお、今回の当業績予想作成にあたっては、上期に最悪期は脱するものの、下期も一定の影響が残るという前提で策定しております。

当社グループでは当期の業績へのダメージコントロールを最優先として、貨物減少に応じた船隊適正化、配船合理化、停船・係船による運航費削減、本日付けの「連結子会社の異動を伴う株式譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」で開示いたしました株式売却をはじめ、必要に応じた資産売却等の施策を着実に進めてまいります。これらの施策を踏まえ、親会社株主に帰属する当期純損益については、収支均衡となることを予想しております。

川崎汽船ホームページURL <https://www.kline.co.jp>

注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後の事業環境等、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。